

新合



緑の城壁に囲まれた山里「新合」
鮮やかなさざんかが出迎える
和みの里へようこそ！

頭岳山頂からの眺望



3 立原神社

明暦3年今からおよそ350年前に創建された旧立原村の村社で、松尾神社・十五社神社・天満宮の3つの社が祀られています。

4 竜王神社

元禄十二年、およそ二百年前に建立されたもので、御神体の石像は竜を背負っておられます。その崇高な姿は、他に類を見ない造形といえますが、地区の人は「背負っておられるのは竜ではなく、「うなぎ」である」と、その昔近くの川原から大うなぎ現れ、しばしば通行人をおびやかしたのでこれを鎮めるために竜神さまが祀られたとのこと。

7 天神山

今は山の麓に天神様(菅原道真公)を信仰する社がひっそりと建っていますが、近年の調査では、有史以前にこの山は人工的に作られたもので、下天草中の集落より集まって神事があっていたのでは?とのこと。



8 頭岳と観音さま

新合地区と一町田地区の境界にそびえる頭岳(標高466m)、峰つづきになっている行人岳について、下島南部では二番目高い山であります。山上からは遠く肥薩の連山を望み、不知火海、有明海、雲仙の雄姿まで眺めることが出来ます。頂上には観音様が祀られていて、祠(ほこら)には妙見菩薩、無尽菩薩の二つが祀られております。いまは、毎年元旦に初日の出を拝む元日登山が振興会行事として行われております。



11 お大師様と七鬼神様(市の瀬)

大師堂の裏山を一巡する表道は、明治13年に霊場を開いたと言われています。遠く四国の霊場から運ばれて来たという薬師如来、千手観音など八十八体の石仏があり、天草では八十八ヶ所霊場は、一番が教良木、二番がこの市の瀬と言われ、天草全島はもとより、海をへだてた長島などから参詣する人もあります。また、大師堂の右横の山手には、天草ではめずらしい悪疫除けの鬼神と言われている七鬼神様が祀られています。



10 風浪神社

十の原水田地帯や家並みが一望される場所に鎮座されており、およそ百数年前に建立された社殿があり、地元では通称「権現様」といわれています。祭神は「大己尊神=おおなみじのみこと」その昔からこの地域は台風が多く、台風のくる毎に風水害に見舞われ、これを鎮めるために宮崎、四国あたりに祀られてある「風浪神社」にちなみ風をしずめ、五穀豊稔の願いと共に十の原地区民の守り神としてこれを祀られたとされています。



12 水観音様(イボ観音)

平床の下地区、人里離れた一町田川のはと、県道をはさんだ岩場の上に、苔むした古い首欠けの観音像と、昭和二十五年再建立の二体の石像が祀られ、その側面からは、清水が湧き出ています。古くからの言い伝えによると、この地では今からおよそ二百二十年前数次にわたる道路工事によって、多くの犠牲者が出たり、牛の化け物が出没し、人々の往来を悩ましていました。

この事を知った全身イボだらけの「おしん」という村娘が、観音像を建立し、これらの犠牲者を弔い、通行の安全と幸せを祈願し、日夜祈り続けたところ、ある日突然に、岩場から清水がこんこんと湧き出しました。この清水を「おしん」が何げなく、イボにつけたところ、不思議にも身体中のイボが跡形もなく消え美しい娘に変わったそうです。その美貌は近隣の村々に響き渡り、「おしん」は百四歳の高齢で没したと伝えられます。その後村人たちは「おしん」の霊を、この観音様に合祀し「水観音様」と呼ぶようになりました。この清水は、イボ消除、美貌長寿、交通安全の霊水として知られ、中でもイボ消除の祈願者は後を絶たず、その霊験あらたかさは、各地に名声を高め、祈願者は年を追うごとに多くなっています。

よかもん、うまかもんの揃とるバイ!

朝とれた野菜がすべて100円

5 上津留無人販売所
安全・安心の粉れもない「産地直送」です。

9 天草地域森林組合 木材加工工場
天草の間伐材を利用して年間約10万本の木杭(おもに植木の支柱)を生産しています。個人購入も出来ます。

色んな地域の情報お気軽に お尋ね下さい

2 ふるさと直売所立原の里
新合の農産品・民芸品をはじめ、天草のうまいもの、河浦の海の幸などの特産品を販売しています。ここは新合の案内所になっています。

地図中の表記説明	
情報案内所	コンビニ
休憩所	トイレ
ガソリンスタンド	パルアールトレ